

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 29年 9月 第86号

人の気持ちがわかる!?

副会長 中村 尚美

今年度が始まり、もう9月です。本当にあっという間に過ぎていきます。

私は最近、私の強みって何だろう？私の価値はなんだろう？等、人生の節目なのか？
そういった事をよく考えるようになりました。

社会人として、働いてお給料を頂くようになって早20年以上。

自分が会社の中で、1つの役割をもってその役割を果たすことが出来ているのか？と若干不安になります。

今どこの会社も人材確保が難しい。当方も同じく職員を確保するのがすごく大変な状態です。

おかげ様で縁あって、当方で働いてくれる職員は、キラキラと輝く魅力をたくさん持っているのでゴシゴシと磨く事だけでなく、そっと優しく磨くことも必要で、光陽の山は宝の山となっています。

私の性格的にゴシゴシと磨いてしまいそうですが、力加減はできますから！

ただ、これから社会・会社の中で必要とされるのは、専門性も必要ですが、「人の気持ちがわかる」人ではないでしょうか？

自分の思いを必要な場合に伝えますが、そこにも、「相手の気持ち」を考えると言葉1つ1つを丁寧に選び、大切に使います。

人の気持ちがわかるって??

「知る」と「わかる」の違いは、知るは、他人事として「知っている」

「わかる」は当事者の気持ちが「わかる」理解する、に近い言葉の「わかる」ではないでしょうか？

わかるという事は、甘えさせるような共感はなく、共に頑張る事であったり、見守ることであったり、前を向けるように、前に進めるように「わかる」事。

気持ちが「わかる」理解することができる人が今後もキラキラと働き続けられる人なのではないでしょうか？

私たちの仕事の1番は子供たちの代弁者である事。子供たちの気持ちがわからなければ仕事にはなりません。

私は、きらきらと輝く魅力をずっと放つことができるよう、時にはゴシゴシ、時にはそっとそっと子供たちの代弁者を磨き続けたいと思います。

きっずサポートはぐくみ

紙粘土で作品作り

後藤 成実

はぐくみでは文化祭に向けての制作で、フォトフレーム作りを行いました。赤色、青色、黄色と鮮やかな色の紙粘土を用意すると、子ども達の目はキラキラと輝き出します。紙粘土を手の平で転がし細長くしたり、丸いボールを作る子。指先を使い粘土をちぎって貼りつける子。3色をしっかりと混ぜ合わせ手の平で押し付けて貼りつける子。その上にアクセサリーを貼りつけて行きましたが、キラキラと綺麗な石を選ぶ子もいれば、夏らしく白い貝殻を沢山貼りつける子もいました♪

どれも個性いっぱいのフォトフレームとなり、素敵な夏の思い出の作品作りになりました。



サポートセンターつぼみ

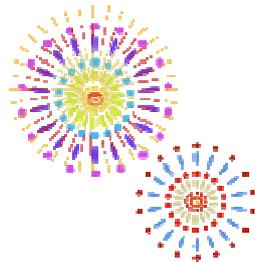
なんでも、楽しく！！

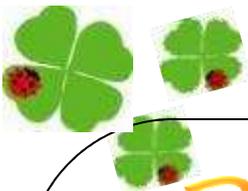
松本 馨

夏休み、皆さまはどんな思い出ができましたでしょうか？つぼみでも、なにか心に残るような出来事があれば良いなど、お菓子作り、プール、流しそうめん、大垣へのお出かけ、とおこないました。しかし思い出だけではなく、家族以外の人と行くお出かけの経験や、楽しいからこそ苦手にも少しチャレンジできたら…というのが、職員のもう一つの願いでもあります。各部門が開催しているお泊り会や、毎月第3週目にある買い物訓練の日もそういった願いから設定させて頂いています。

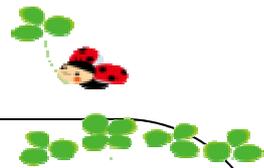
今年も、麺類が好きでは無かったけれども皆が楽しそうに食べている姿を見てつられてそうめんを食べることができた事。深いプールが怖かったけど入ってみると足がちゃんと着くことが分かって安心できた事。お菓子作りの時にエプロン、三角巾をするのが苦手だったり、調理中ねっとりとした生地が手についてしまうのがどうしても嫌だったけど…できた物の美味しさが自分の作ったものだから一層強く感じる事ができた事。みんなの「楽しかったから出来ちゃったこと、やってみたら意外と大丈夫だったこと」の姿をたくさん見せてくれました。

これからも「なんでも、楽しく！」いきましょう^-^





第2光陽



つぼみカフェを開きました

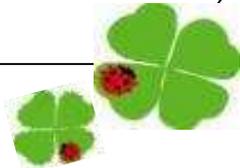
井戸 夕稀

9月に入り、暑さはまだまだ続きますが体調を崩さないように気を付けていきたいですね。第2光陽では、文化祭の日に就労部門と共同でカフェを開きました！当日はたくさんの方々にお越しいただきありがとうございました(*^_^*)1年前からスタートしたカフェの取り組み。始めた頃はどうか接客してよいか分からなかった彼らでしたが、練習を重ねるうちにノウハウを覚え自然と出来るようになりました。実際にお客さんを前にすると、以前の彼らなら緊張して慌てていたと思います。しかし、文化祭当日の彼らは、慌てることもなく「注文行った方がいい？」「お皿下げてくるね」と自ら気づき行動する姿がありました。お盆をもって運ぶことが難しかった子も両手で上手に持ち、こぼさないように慎重に…そして自信に満ち溢れている表情をしていました。練習の成果をたくさんの方々に見て貰うことができ、私達職員も嬉しく思います☆

この先、社会に出ていく彼ら、仕事をしてお金をもらう事が大変であることが少しでも伝わったと思います。保護者様を始めたくさんの方々がお客様として協力して下さり出来るカフェである為、感謝の気持ちでいっぱいです。また、次回のカフェも楽しみに待っていてくださいね(^_^)



第3光陽



夏休み

翠 佳子

子どもたちが楽しみにしていた夏休み。家族で遠出した話など楽しそうな話を聞いたり、暑さに負けず元気に過ごしている姿を見られると、こちらも嬉しくなります。

さて、第3光陽内ではクーラーで涼しく過ごしやすいのですが、自販機購入やコンビニでの買い物の活動で外に出ると、あまりの暑さにクラッときます。水分補給に気を使いますが、止まらない汗を拭いながら、仲間と出掛けることも良い経験だなと感じています。また、夏休みはみんなと一緒に過ごす時間が長く、彼ら彼女らの新たな一面を見ることが出来ました。

今回は夏休みの活動の中で「文化祭」についてお伝えしたいと思います。まず1週間の準備期間をかけて、ちぎり絵の制作を行いました。Aくんは、自分がまかされた色や場所が出来上がるまで、指先を上手に使いながら、集中して取り組むことが出来ていました。Sさんは、仲間が取り組むところを見て、のりつけに挑戦し、一生懸命手を動かすことが出来ていました。文化祭当日には作り上げた作品は本部外に掲示し、華やかさを加えてくれました。また、第3光陽ではラスクの販売を行いました。私は陰ながら、販売チームの彼らがどんな姿で頑張っているのだろうと見てみると、ずっと声を出していたり、真剣にお金の計算していて役割に向かう一生懸命さがとても伝わってきました。彼らから教えてもらうことがいっぱいあります。これからも一緒に一生懸命頑張っていきたいと思います。

